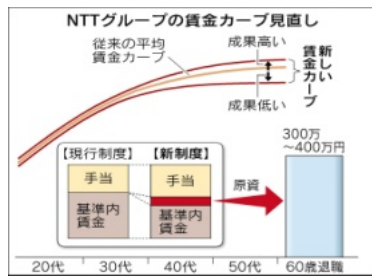


60歳超の賃金、減額の可能性も 新賃金制度の欠陥露呈 II 東日本本社交渉

昨年10月から51歳以下の東日本社員に導入された新賃金制度は、30歳代から昇給額を押し下げるなどして賃金を減らし、60歳超の賃金財源にする制度です（左図）。



60歳超の賃金財源別会計で確保を

昨年12月の東日本本社交渉では、60歳以降は年収300万円と400万円としているが、実際の支給となる10年後、業績悪化を理由に減額されることはないのか」との質問に対して会社側は次のように答えました。

新賃金制度は個々人の賃金原資を積み立てたり貯金をして確保するものではない。こうした制度は経営環境の変化で影響を受け

対象業務、営業外勤、SO工事外勤、線路外勤支給額、1か月に16日以上外販・外勤をした場合、月額6480円。以下、11日以上16日未満は80%、6日以上11日未満は60%、6日未満は20%の額を各々支給。

所外系や営業系の60歳超え契約社員外勤手当を新設

昨年12月、NTT各社より、60歳超え契約社員に支給されいなかった外勤手当を新設するとの提案が、次のとおりあります。

対象者 フルタイムの60歳超え契約社員

。努力はするが保証はできない、と無責任な態度に終始しています。みなさんもN関労に入っ

新たなNTT企業年金管理・給付手数料は個人負担か

いま提案中のNTT企業年金制度（日本版401K）は、年金資産運用を個人が行い、元本割れを起す危険性があります。そして、この新制度では、金融機関に年金原資を積み立てるための管理手数料（年間数千円程度）

や年金給付手数料（1回数百円程度）について、「おそらく個人負担ではないか、調べて回答する」と東日本は交渉のなかで述べています。（この新制度は50歳退職・再雇用者や退職者は対象外です）

度に終始しています。みなさんもN関労に入っ

派遣社員としての訴え 安心して働けるルールの確立を

N関労茨城支部 沼田雅晴

私は、茨城113サービスセンターというお客様の入電時に電話やインターネットの故障受付や修理者への手配を担当しているオペレータとして10年10か月間働いておりました。

03年当初は、直接雇用でNTTエムイー茨城の臨時社員として4年間働きました。07年4月よりテルウエル・ジョブサポート（当初はテルウエル）の派遣社員として、同じ職場に派遣されることになりました。

それからは、登録型派遣社員として3カ月の契約を繰り返して働き続けました。そして13年11月を以って職場の集約合理化により派遣社員は全員派遣契約終了となり、解雇となりました。雇止めを言い渡されたからは、このまま生きていく意味があるのか、死んだらどうなってしまうのかと、家の庭木を眺めては辛気臭いことばかり考えていました。

り考えていました。派遣社員ということだけで会社は雇止めをしまつたことに、私は強い憤りを感じております。私は無力な人間です。で愚痴を言っても社会の歯車として喰らいついていくしか生きる術がありません。自分で会社を起業できない私のような凡人が、安定した生活と賃金と権利を獲得していくには労働組合が、非正規労働者への救済活動を国全体で若者たちに拡大していくことが急務であると思えます。（13年11月雇用破壊共同院内集会での発言より）

映画紹介 36



昨年の12月5日、南アフリカ共和国の元大統領、ネルソン・マンデラ氏が95歳で亡くなりました。彼は1964年、アパルトヘイト（人種隔離政策）に反対し国家反逆罪で終身刑となり27年間投獄され1990年に釈放。この年、同国の黒人として初の大統領となりました。

この作品は、大統領となった彼が人種差別や経済格差の残る国を

インビクタス 負けざる者たち

09年 アメリカ

の練習をしている一方、もう片方の土のグラウンドでは黒人たちが裸足でサッカーをしています。両方のグラウンドには柵が設けてあ

り、人種隔離政策を象徴するシーンから始まります。大統領になった彼は、初登壇の日職員たちを集め「辞めるのは自由だが、新しい南アフリカを作るために協力してほしい。あなたたちの協力が必要だ」と白人の官僚たちに呼びかけ、ボディーガードも黒人と白人の混成チームにします。そして彼は、当時非常に弱く不人気だったラグビーの代表チーム

が黒人と白人の団結と和解のシンボルになると考えチームのキャプテンを茶会に招き協力を求めます。やがて、1995年のラグビーワールドカップで南アフリカチームは快進撃を続け決勝戦へと進んでいきます。人種差別との闘いと共にラグビーのサクセスストーリーとしても充分楽しめる娯楽作品に仕上がっています。なお、「インビクタス」とはラテン語で「屈服しない」を意味します。DVDレンタル可（み）